

『防災教育の日』



【1年生:防災備品の作製演習】



【2年生:HUG訓練】



【3年生:パネルディスカッション】

11月2日(土)第3校時『防災教育の日』として、防災に関わる学習活動を行いました。

1年生は、災害が起こった際に必要になるかもしれない防災備品の作製演習を行い、段ボールベッド・簡易トイレ・パーテーション・簡易担架を作製しました。

恵那市防災研究会の方を講師に、全員が体験しました。実際に備品を作ったことや備品を活用したことで、防災活動への知識が深まったと思います。笑顔を見せながら、真剣に活動に臨む姿が印象的でした。

2年生は「HUG訓練」を行いました。防災リーダーが司会進行を務め、学校が避難所になったことを想定し、「学校に訪れるさまざまな避難者をどのように支援するか」を班ごとに協議し、本部の運営の在り方や人員の配置の仕方等について考えました。

学校に訪れるさまざまな避難者のなかでも、お年寄りや身体の不自由な人、けが人や病人、妊婦や乳幼児など、配慮が必要な人がいること、外国からの観光客やペットを連れた人もいることに気づき、避難所運営を多面的・多角的に考える姿がありました。

3年生は地震が起こったことを想定し、学級ごとに「何をしなければならないのか」「どんなものが必要なのか」「何をしてはいけないのか」等のパネルディスカッションを行い、防災士の岩井慶次さんより講評をいただきました。

防災リーダーを中心にそれぞれの学級で討議され、まとめたことを学年全体で交流しました。災害が起こった時間や場所、その場にいる人等…時と場合に応じて、より安全に避難したり救助したりできるように『臨機応変に、どう動くかを、具体的に』しました。

恵那東中学校では、『防災教育の日』や『防災訓練』、『命を守る訓練』等の行事だけでなく、恵那東防災リーダー(D.P.L.)が研修を重ねており、悪天候の際には放送を活用し、防災リーダーから全校生徒へ、安全のための啓発がなされます。こうした一つ一つの活動が「点」から「線」へ、「線」から「形」へと成長しています。子どもたちの中で「防災について学習することは当たり前のことだ。防災学習は、恵那東中学校の特徴であり、大切な学習だ。」という意識が定着しています。

災害から身を守るために、また、災害が起こった際に誰かを支援するためには、そのための『知識』や『技能』が必要不可欠です。防災について学んだり、実践をしたりしていなければ、「支援する立場」になることは不可能です。恵那東中学校の生徒は災害が起きた際、「支援する立場」となって活躍できることでしょ。

災害が起こった際に、「支援する立場」となることができる中学生は、きっと『まちの誇り』となると思います。

恵那まちなか市に恵那東中1年生が出店

10月26日(土)に第36回恵那まちなか市に、東中1年生がボランティアとして参加するとともに、手作り部が今年度も「ハンドメイドアクセサリー」のお店を出しました。

さらに、1年生が「恵那まちなか市を盛り上げるプロジェクト」として、出店をしました。出店にあたり、恵那まちなか市実行委員会の会長さんに中学校へ来校していただきました。そして、それぞれの出店チームが企画をプレゼンテーションし、実施可能かどうか、活動資金、価格設定、利益が得られるか等のアドバイスをいただきました。会長さんは、出店成功に向けての熱い思いを伝えられ、中学生にとって、心の支えとなるお話でした。さらに、地元企業さんの協賛を得ながら、そのアドバイスを受けて、1年生約40名が、下記の4つのチームに分かれて出店しました。

- 1 フリースロー大会(中山道大生宿広場)
- 2 商店街でミッションをクリア(西銀座通り)
- 3 種類豊富な卵アレルギー対応の飲食店
(西銀座の空き店舗)
- 4 恐怖の屋敷迷路(西銀座の空き店舗)

当日は、商店街の方に励ましの声をかけていただきながら、まちづくり実行委員や保護者の方とともに早朝から準備し、開店時間をむかえました。



「まちなか市」を盛り上げるために貢献できたか(生徒の感想より)

- ・来てもらう人に楽しんでもらえるように考えて準備してきた。本番ではたくさんの人にきてもらい、町中を歩くことで知ってもらえたと思う。
- ・たくさんの方がお店に来てくれたし、「こんな道があるんだ」と参加してくれた人が言ってくれて嬉しかった。
- ・恐怖の屋敷迷路には、約220人の人が来てくれて、この商店街を少しでも華やかにすることができたと思う。
- ・あまり人がいない防災広場をバスケットで少し賑わせることができたから貢献できたと思う。
- ・楽しくお客さんと会話ができて良かった。

※まちなか市への出店を通して、多くの大人の方と一緒に活動したり話したりする中で、自分が住むまちを知り、今の自分たちにできることは何かを考える良い機会となりました。

※協力していただいた関係者・保護者の皆様、物を提供していただいた方々、本当にありがとうございました。